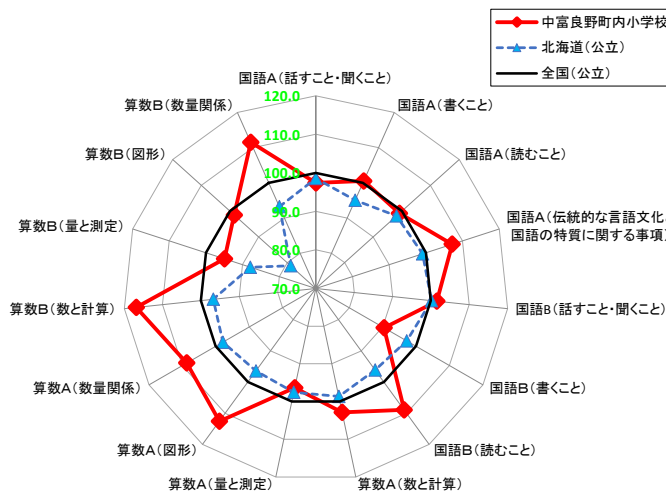


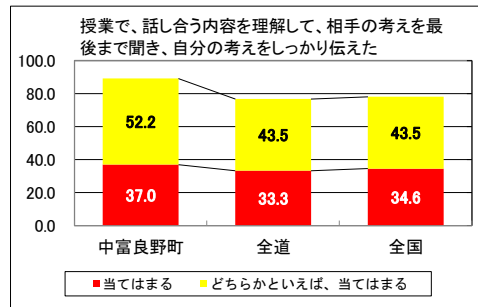
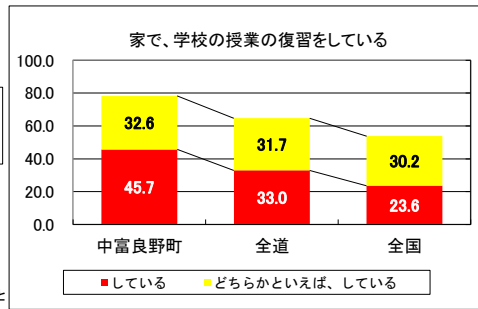
■中富良野町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:46人)

【教科全体の状況】

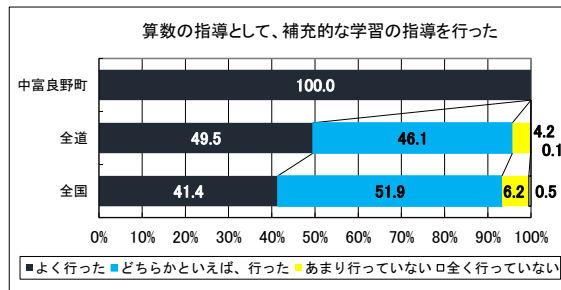
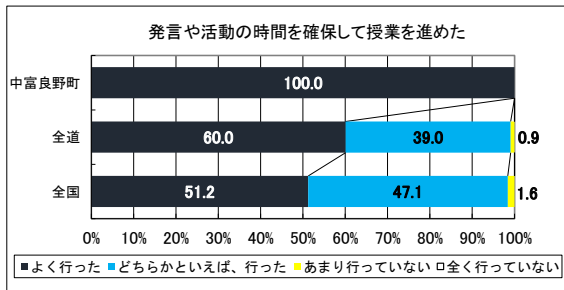
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「図形」「数量関係」で、Bでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の授業の復習を家庭で行うよう指導するなど、学習習慣の定着に向けた取組を充実したことにより、国語及び算数の9領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で、話し合う場を位置付けるとともに、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えるよう指導したことにより、国語Bの「話すこと・聞くこと」など、国語の4領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「発言や活動の時間を確保して授業を進めた」と回答している。 ○ すべての学校が、「算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、補充的な学習を行い、児童が基礎的・基本的な知識や技能を身に付けたことにより、算数の5領域で全国を上回ったと考えられる。

【中富良野町の学力向上策】

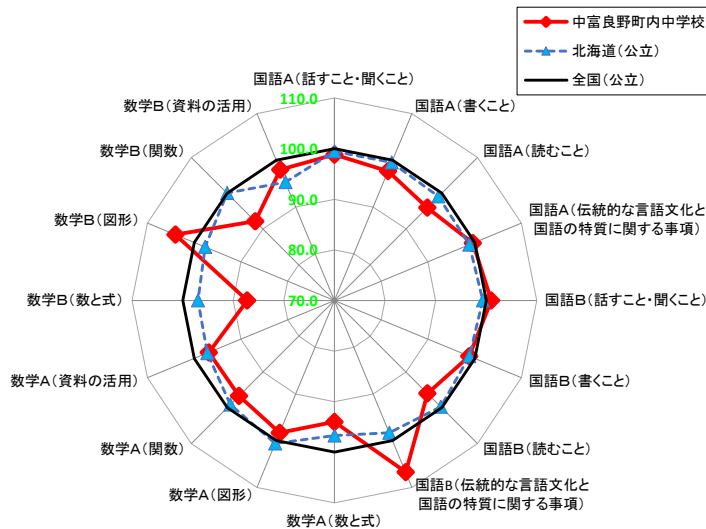
- ◎ 基礎・基本の確実な定着のための加配教員、学習支援員等の活用による校内組織体制の確立
- ◎ 学校間の円滑な接続に向けた小中学校連携会議を核にした各小学校と中学校の連携の推進
- ◎ 言語活動の充実を図るための「朝読」「家読」の取組による読書活動の推進

■中富良野町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:52人)

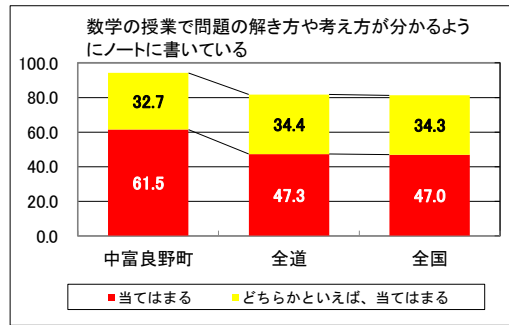
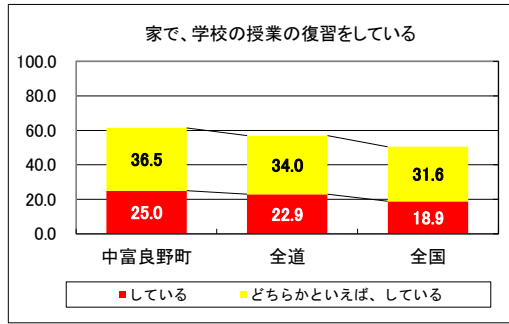
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

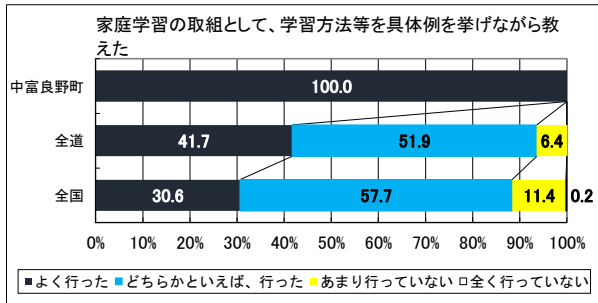
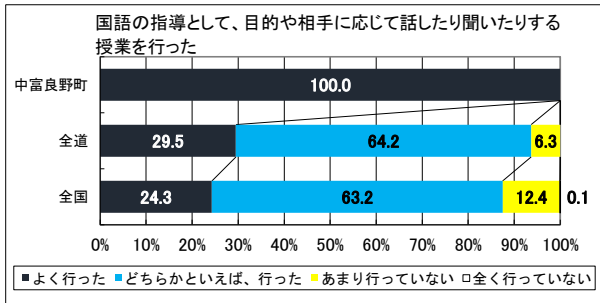
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近く、Bでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近く、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業と関連付けた宿題を与えるなど、学習習慣の定着を図る取組を行ったことにより、生徒に基礎的・基本的な学習内容が身に付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書かせる指導を行うなど、授業改善を図ったことにより、数学Bの「図形」において全国を上回るなど、成果が現れていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 家庭学習の取組として、学習方法を具体例を挙げながら教えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業において、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回るなど、成果が現れていると考えられる。

【中富良野町の学力向上策】

- ◎ 基礎・基本の確実な定着のための加配教員、学習支援員等の活用による校内組織体制の確立
- ◎ 学校間の円滑な接続に向けた小中学校連携会議を核にした各小学校と中学校の連携の推進
- ◎ 言語活動の充実を図るための「朝読」「家読」の取組による読書活動の推進